

麻生区区民会議 第11回 市民活動・地域活動の活性化部会 議事要旨

- 1 開催日時：平成27年10月20日（火）午後3時00分～午後5時00分
- 2 開催場所：麻生区役所第5会議室
- 3 出席者：[専門部会委員]
岡倉委員、高橋委員、石井委員、石川委員、植木委員、小尾委員、高倉委員、林委員、宮本委員
（欠席）横田委員
[事務局] 白石、麻生 [コンサルタント] 中島
- 4 傍聴者 0名
- 5 連絡事項
 - ・ 部会長より企画部会の報告。
大雨時の避難勧告の効果について問題提起がなされたとのことであるが、災害に関連する事項として、10月27日に麻生区役所で土砂災害ハザードマップの説明会が開催されるとのこと。関心のある委員は参加してみてもどうか。
 - ・ 前回の会議についてコンサルタントが説明。
麻生老人福祉センターの現地調査に関わる事項として、市民交流館やまゆりでは、センターと交渉して市民活動に係るチラシを設置してもらおうこととなった。チラシは作るだけでは意味がなく、配布することも考えなければならない。スタンドごと置いている。また、置いてもらうだけではなく、センターのチラシをやまゆりに置くなど、お互いにメリットのある形を取っている。
- 6 議 事
 - (1) 「健康づくりのつどい」での調査の進め方について
 - ア 調査の概要について
コンサルタントより説明。シニア世代を中心に200名を目標に意見を聴く旨確認した。
 - イ パネル意見交換のフローについて
コンサルタントより説明。次の事項を確認することについて検討した。
 - ①ボランティアに関心があるか。②参加したことがあるか。③参加したきっかけは何か。④どんなきっかけがあれば参加するか。⑤気軽に参加できるようになるには、何が必要だと思うか。
 - ・ 意見を聴取する際、「ボランティアとは何ですか？」と聞かれた際に、答えられるようにしておかなければならない。
 - ・ ボランティアのイメージは人によって異なる。気の合う人同士の軽い活動から、社会福祉関係の深い活動まで。
 - ・ ボランティアという言葉の響きから、ハードルの高さを感じる場合もある。
 - ・ 地域活動、地域貢献活動という単語の方がしっくりくる。社会奉仕までいくと絞り過ぎている感じを受ける。
 - ・ 地域活動と一口で言っても町内会の役員の活動をイメージする人もいれば、一日限りの美化活動をイメージする人もいる。
 - ・ 相手のイメージしている活動を、それはボランティアではないと否定しては何もできない。地域活動等も含め、幅広く捉える必要がある。相手の言葉を否定しないことが、ヒアリングする際の基本。

(決定事項)

 - ・ ボランティアという単語はそのまま記載し、市民活動や地域活動も含めた形とする。話の流れで、ボランティアのイメージについて、どのように思っているのか聞き取ることができたら、各自メモを残しておく。（その他にも気づいた点は、今後の審議に生かすためにも随時書き留めておく。）

ウ. ブースのレイアウト、必要備品、当日の集合時間等について

- ・幟旗とキャッチフレーズを載せた横断幕が必要。目を引くように。
- ・ボランティアが健康寿命を延ばすという新しい考え方を参加者にインプットする必要がある。
- ・キャッチフレーズについて、「ボランティアは健康寿命を延ばす」と言い切ってしまうとよいのか。もっと、柔らかな表現にした方がよい。
- ・風船の飾り付けがあるとよいかも。子どもや孫を連れた参加者に渡すことができる。
- ・健康寿命について説明する際の看板が必要。健康寿命の定義や裏付けとなる新聞記事が掲載されていれば参加者に説明しやすい。
- ・参加者に渡すチラシの裏面にも、区民会議の趣旨や根拠などを入れる必要がある。
- ・参加者へ渡すチラシに飴玉をつけるという手段もあるが、飴玉だけ抜き取られて捨てられてしまうという危険性もある。

(決定事項)

- ・幟旗、横断幕を用意する。横断幕のキャッチフレーズは「ボランティア活動に参加して健康寿命を延ばしましょう！」とする。
- ・バルーンアートの飾りつけをする（バルーンは林委員が用意）。
- ・意見聴取用のパネル4枚の他に看板を2枚設置する。
- ・クリアファイルを用意し、参加者用チラシ200部を当日挟み込む。回答お礼用に市に関連したキャラクターマグネットを1人1枚渡す。
- ・雨天時に柔軟に対応できるように、アンケート用紙を用意する。雨天時は、屋内に机一台確保する。
- ・終了後、委員が感想を述べ合うことができるように控室を確保する。
- ・看板等の作成作業は、部会長、副部会長が10月23日に行う。
- ・当日は、9時、ロビーに集合とする。

(2) 区民会議フォーラムについて

- ・東京都健康長寿医療センターの藤原氏の活動がテーマに沿っていると思う。講師として招いたらどうか。
- ・9月に多摩区の多摩まち大学で講演したようだ。どのような講演内容であったか探してみたい。
- ・藤原氏の活動に非常に魅力を感じる。麻生区民にもぜひ聞いてもらいたい。
- ・開催日については、講師の都合や他のフォーラム、講演会の日程も考慮する必要がある。

(決定事項)

- ・部会として藤原氏に打診していく方向で話を進める旨、確認。企画部会に提案する。

(3) 全体会議の資料について

叩き台を元に検討した。

- ・健康づくりでのつどいの枠をもっと広げ、内容を盛り込んだ方がよい。
- ・麻生老人福祉センターの現地調査について、交流館やまゆりのチラシ設置についても記載した方がよい。

(決定事項)

- ・部会長一任の元、資料を確定する旨確認した。